



# 統計スポット情報

No. 119

H18. 6. 1

福井県総務部政策統計室

## 元気なお年寄りが農業を支えています

～ 2005年農林業センサス結果から～

県内販売農家の農業従事者数は、98,946人(平12)から79,685人(平17)となり、5年間で19.5%減少しました。このうち65歳以上の占める割合は、平成12年の31.5%から平成17年の35.1%へと3.6ポイント増加しています。

また、基幹的農業従事者(農業就業人口のうち、1年間のふだんの主な状態が「仕事(農業)に従事していた」人)における65歳以上の占める割合をみると、76.7%で全国第1位となっています。

表1 基幹的農業従事者に占める65歳以上の割合

(単位:%)

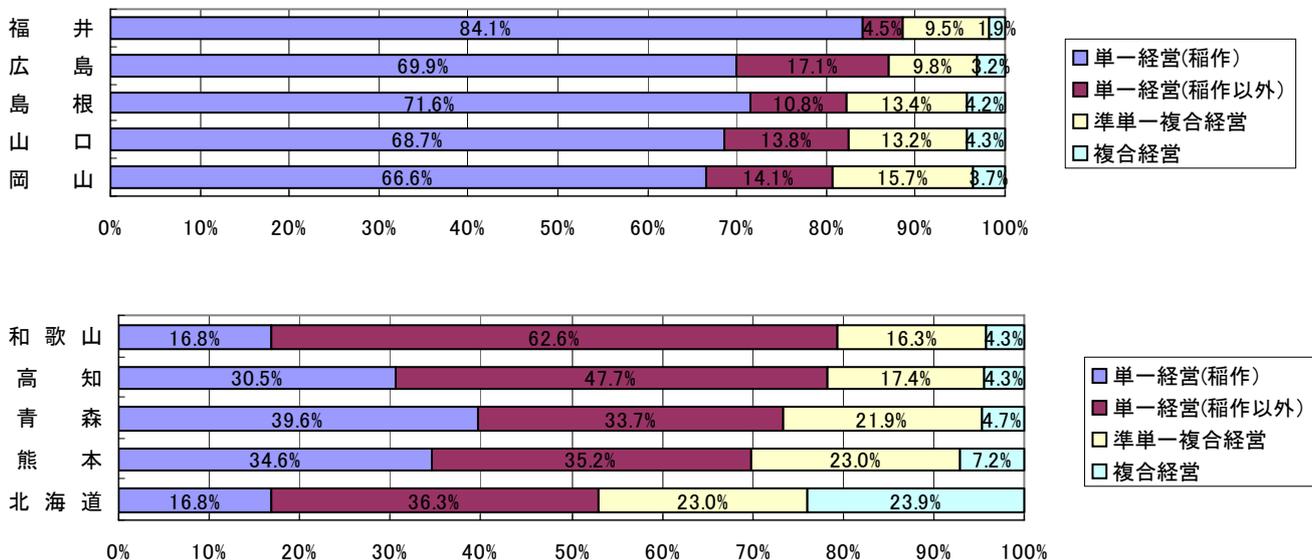
| 順位  | 県名   | 割合   |
|-----|------|------|
| 1   | 福井県  | 76.7 |
| 2   | 広島県  | 75.0 |
| 3   | 島根県  | 74.7 |
| 4   | 山口県  | 74.1 |
| 5   | 岡山県  | 73.8 |
| ... | ...  | ...  |
| 43  | 和歌山県 | 51.5 |
| 44  | 高知県  | 48.7 |
| 45  | 青森県  | 46.9 |
| 46  | 熊本県  | 46.1 |
| 47  | 北海道  | 30.8 |
|     | 全国   | 58.6 |

上位の県と下位の県について、農業経営の特徴を見てみましょう。

本県を含む上位の県では、稲作単一経営の割合が高くなっています。

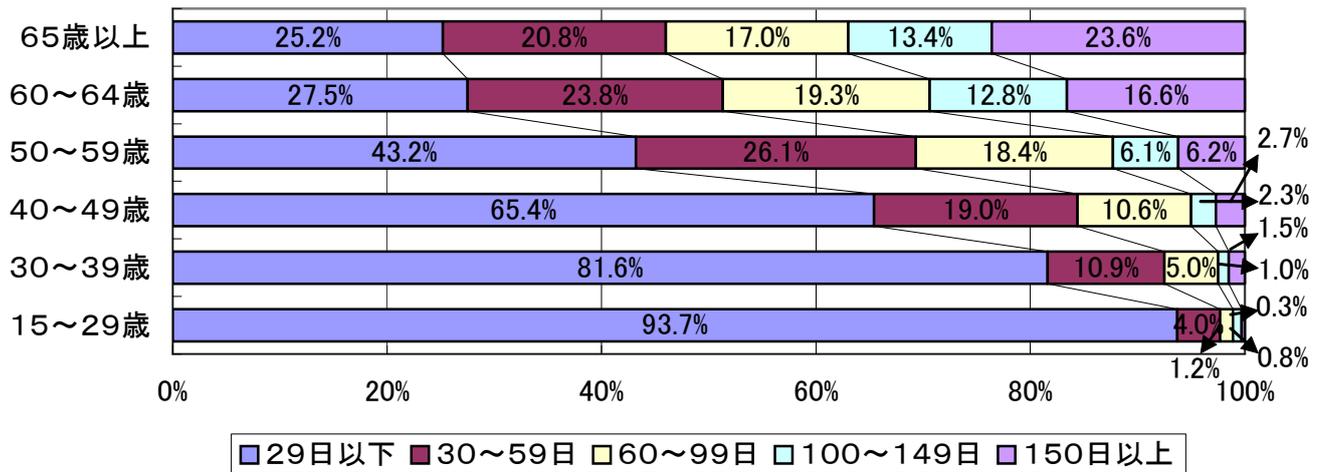
それと対照的に下位の県では、稲作以外の単一経営の割合が高いことがわかります。和歌山県・青森県は果樹栽培、高知県・熊本県は野菜作、北海道は酪農の割合が高くなっています。

図1 農業経営組織別販売農家数の割合



では、農業従事日数を年齢別にみると・・・

図2 福井県の年齢別・農業従事日数別農業従事者の構成割合



本県では、年齢が高くなるほど農業従事日数が多くなっています。稲作単一経営の農家が多い本県では、日常の農作業はお年寄りが担っていることがわかります。

高齢になっても働く人が多いことが本県の「健康長寿」の要因のひとつされています。

高齢でも元気で生き生きと農作業を行い、本県の農業を支えている農家のお年寄りの姿がみえてきます。

単一経営：農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が8割以上  
 準単一複合経営：農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が6割以上8割未満  
 複合経営：農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が6割未満

世帯員の就業状態区分

|          |         | 仕事への従事状況 |              |             |           |
|----------|---------|----------|--------------|-------------|-----------|
|          |         | 農業のみに従事  | 農業とその他の両方に従事 | その他の仕事のみに従事 | 仕事に就かなかった |
| ふだんの主な状態 | 主に仕事    | 基幹的農業従事者 |              | 農業従事者       |           |
|          | 主に家事や育児 | 農業就業人口   |              |             |           |
|          | その他     |          |              |             |           |